



# 共 育

今年度もスタートして2週間が経ちました。

年度の初めは、学校生活が節度ある中にも温かく和やかなものになるように職員一同、力を合わせて取り組んでいます。今年も校長室だよりでは、本校の教育活動を広く知っていただくための情報を発信していきます。どうかよろしくお祈りします。

## <昨年度の児童の様子から>

### スローガン「よく考え、進んで取り組み、すなおに表現する」

平成28年度は、このスローガンを具体的な姿で示し、職員で共通理解しました。そして、子どもたちの様子から「よく考え、進んで取り組み、すなおに表現する」瑞穂っ子の姿が見られたかどうかを振り返ってみました。

#### よく考え

- ・「〇〇さんが困っているから、わたしが助けてあげよう。」  
と相手を思いやることができている。
- ・「あいさつはみんなを元気にするから、寒くてつらいけどがんばろう。」  
と意義を考え、行動する子が増えてきた。
- ・「今、ここでこんなことを言うと、みんなの迷惑になるし、だれかを傷つける。」  
と状況を考えられる子が見られた。



#### 進んで取り組み

- ・先あいさつレンジャー隊やあいさつ列車に**進んで取り組む子**がいる。  
(給食後全校でテーマにそって自分の考えを述べる時間)
- ・毎日 **ほ っ と タ イ ム** で率先して自分の考えを述べる子が  
さらに増えるようにしなければならない。
- ・(進んでゴミを拾うボランティア)  
瑞穂カストーディアルやE C O活動に**自然に取り組む子**が  
最近、低学年で見られようになった。
- ・役割や立場に応じて、先生や家族から指示される前に行動できる子が  
中・高学年を中心に増えている。



#### すなおに表現する

- ・自分の考えを相手に分かるように**伝えようとする子**が増えている。
- ・「ありがとう。」「ごめんなさい。」が**すなおに言える子**が増えている。
- ・「分からない。」「困っている。」「助けてほしい。」を  
言える**勇気が持てる学級づくり**ができてきた。



## < 28年度を受けて 平成29年度 教育活動の重点 >

### (1) 児童が、自他を尊重し、豊かな人間関係を作ろうとする資質や能力を養う。

- ・「自分も大事、みんなも大事」の考えを根底に、友だちと共感的に関わり合う場面を大切にする。
- ・縦割り班活動を学校生活のいろいろな場面で意識し、学校全体で育ちあう風土を作る。
- ・係活動や児童委員会などを活用しながら、児童が自ら考え、主体的に動く場面を多く取り入れる。



集団下校で1年生を気遣う6年生

### (2) 教科の基礎・基本を確実に身に付け、生活科や総合的な学習の時間などの課題解決的な学習の場面で身につけた力を生かすことで、学びの深まりを目指す。



朝学習の様子

- ・100マス計算、視写で朝のリズムを整える。
- ・学びあい活動に、ホワイトボードなどを使って個々の考えを引き出し協力して課題を解決する学習を進める。
- ・授業や活動のまとめやふりかえりの場面で、自分のことばで思いや考えを発表する経験を積ませる。
- ・グッドラーナーズブランドで学年を超えた学びあい活動を行う。

### (3) 教育活動全般を通して人権教育を推進し、実社会や実生活に根付いた学習を取り入れる。

- ・道徳や生活科、総合的な学習の時間など、教科や領域の特性に応じて人権をテーマにした学習を進める。
- ・高学年を中心に、人権課題（高齢者や障害者、いじめ、男女など）についての知識を広める。
- ・人権について「知る」「課題を見つける」「考える」「経験する」などの活動を計画的に設定し、解決が難しい問題にも真剣に向き合う場面を作る。



お年よりとの交流の様子(H28)

### (4) 家庭学習の充実を図り、児童が主体的に学習に取り組む姿勢を養う。

- ・学年に応じた家庭学習を設定し、児童が自ら計画的に取り組めるように働きかける。
- ・家庭学習と授業を連動させ、効果的な家庭学習の習慣づけを目指す。
- ・家庭と連携して読書活動を推進し、自ら本を手に取り、読書を楽しむ児童を育む。
- ・家庭との連携を密にし、人権について共に考え、豊かな人権感覚を養う。

## 参 考

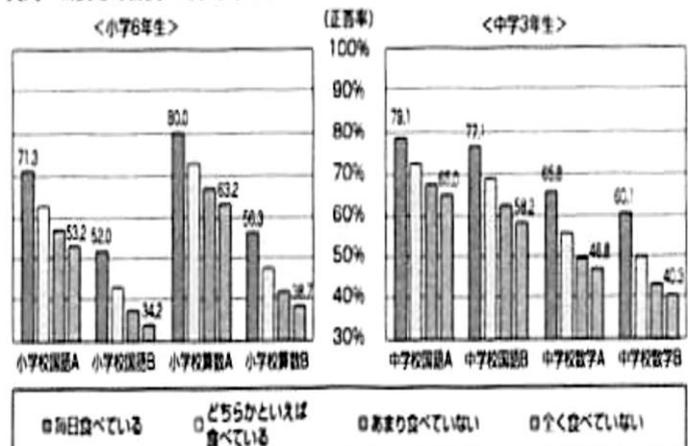
～ 家庭教育手帳（文部科学省）より ～

なぜ、朝食をとることは大切なのでしょうか。朝食は一日の生活のスタートです。朝食をとることにより身体にエネルギーを補給し、集中力ややる気、体力を発揮し持続させ、一日の身体のリズムを整えることができます。

特に、子どものころは食生活を含めた基本的な生活習慣が形成されていく大切な時期です。朝食をしっかりとる習慣を子どものころに身につけることは、生涯を通じて健康な生活をおくる基礎を培うことにもつながるのです。

## 毎日朝食をとる児童生徒ほど、学力調査の平均正答率が高い傾向

質問：朝食を毎日食べていますか。



資料：「平成21年度全国学力・学習状況調査（小学6年生約115万人、中学3年生約108万人）」文部科学省